

モーターヘッド

MOTORHEAD WHEELBOOK IV

ホイールブック・Ⅳ

掲載モデル

約 **360** 本

世界最新情報
完全網羅!!

The Latest Fashion of Wheel Matching

機能的車輪大全。

ホイール



アメ鍛ブームも一段落して、ほとんどのカスタムホイールブランドでフルオーダーシステムが可能になった今、「誰にも被らないモノを造る」という姿勢を貫くカスタム屋にとっては逆に厳しい時代になっていますよね(笑)。そういった意味でボクが提案していきたいのはヴォルシュタイナーなどのチューナーホイールを使って“高度なさり気なさ”を演出するようなアレンジ。例えばツラを意識したフィッティングを突き詰めてスペーサーで微調整したりだとか、マンソリーなどベントツ用のものをBMWに流用するような、“意図とはちょっと違った使い方”など。それにカラーアレンジでも差し色でボディ同色にするとか、そういった“分かる人には分かる”、マニアックとも言えるような方向性です。こういったやり方は実はカスタムを突き詰めた人にこそ、チャレンジしてみたいアレンジ。アイデア次第なのでボクらの腕の見せ所でもあります。そういう時代になってきているのじゃないかな。

「高度なさり気なさ、を演出する
そんなアイデアが求められる時代」

EC.SPEC

井口拓也

Takuya Iguchi

細部のカスタムアレンジで魅せる
シンプルな1221がオススメ!

昨年から今年にかけてコンケーブやヒネリといったデザインもある程度落ち着いてきたようで、ボンドのお客様もシンプルなホイールをご希望される方が増えてきたように感じています。デザインはシンプルで、素材に拘ったり、フィニッシュに拘ったり、ピアスポルトを半分だけ見せるなど、仕上げ方で差をつける傾向がありますね。また、センターロックの車両も増えてきていますので、通常のセンターキャップとは見え方が全く違ってきますので、その辺りも配慮して提案させて頂いています。そんな中でブランドとしてボクが一番推したいのは昨年から弊社で取り扱っている1221です。デザインはシンプルですが、素材にはクオリティに定評のあるAPP製の鍛造素材を使っていますし、フィニッシュもセラミックコートという非常に硬い仕上げを施しています。まだまだ歴史の浅いブランドですが、自社工場生産で品質管理もしっかりしています。注目してくださいね。

Bond Shop Tokyo

飯村洋平

Yohei Iimura

「高性能で多彩なカスタムのできる
キャストホイールに期待」

ホイールカスタムの訴求という点ではフローフォーミング製法を採用し、仕上げにも拘ったクオリティの高いキャストホイールにより注目したいですね。このジャンルでは先駆者であるVOSSENはもちろんですが、よりフォージド的なアレンジを楽しめるROHANAは、昨年辺りからグッとシェアを伸ばしてきている実績があります。これらのブランドは鍛造に比べれば安価で、しかもカスタムの楽しみ方の充分味わえるという意味では、より深くカスタムを楽しめる鍛造モデルへの入り口として機能してくれるのでは、と期待しています。そしてそこから鍛造ブランドに移行していくのであれば、今、ボクが個人的に気に入っているのがBrixtonですね。ADV1などと同じ系統のアメ鍛ブランドなのですが、デザインセンスが飛び抜けています。決してフォージアトなどのように派手ではないのですが、既成概念をぶっ壊すような斬新なデザインは要注目ですよ。

Advance Eight

中本宏平

Ko-hei Nakamoto